

ボウリング競技(知的部門)申し合わせ事項

開催日：令和2年5月24日(日)
会場：東京ポートボウル

競技規則

本項に定める以外は、令和2年度公益財団法人日本障がい者スポーツ協会編「全国障害者スポーツ大会競技規則」により行う。

競技方法

- (1) 競技はヨーロッパ方式で行う。
- (2) 各グループ内2ゲームの得点合計ピンの多い者から勝者の順位を決定する。
- (3) 同数の場合は、同じ順位を与える。
- (4) ボウリングシューズ、ボールは個人所有のものを使用することが望ましいが、所有していない場合は、ハウスボール、ハウスシューズを使用すること。(シューズ借用料350円)。
※ハウスシューズを受け取った後、フロントにてお支払いください。受付時にお伝えします。
- (5) 大会の運営、競技の運営・進行については、全て大会役員、審判の指示に従うこと。
- (6) 出場選手は、男女ともスラックスまたは、トレーニングパンツを着用すること。

注意事項

- (1) 申込書は様式個人競技-6「ボウリング競技参加申込書」を提出すること。
- (2) 競技は以下の3グループに分けて行う。
 - ・Aグループ 少年男子(～19歳)・全ての女子 受付 9時00分～ 競技 9時30分～11時30分
 - ・Bグループ 青年男子(20～35歳) 受付 11時30分～ 競技 12時～14時
 - ・Cグループ 壮年男子(36歳～) 受付 14時00分～ 競技 14時30分～16時30分
- (3) 試合欠場の連絡は、なるべく前日までに(公社)東京都障害者スポーツ協会に連絡すること。
- (4) 出場選手は、受付で選手名簿に登録されていることを確認すること。
- (5) 試合終了後は、ボックス付きの役員と共に表彰式の場所に移動し、ボックスごとに表彰を受ける。表彰終了までは、必ずゼッケンを着用のこと。なお、使用したゼッケンは、各自持ち帰ること。
- (6) 競技開始後、選手、審判以外のボーラーズベンチへの立ち入りは禁止する。必要のある時は、審判の許可を得てボウリングシューズに履き替えて入ること。
- (7) 競技中、選手がトイレを使用する時は、審判の許可を受け、靴を履きかえてトイレに行くこと。
- (8) 特別な理由が無い限り、競技中は飲食を禁止する。
- (9) 控室、休憩室は特別に設けない。緊急の場合は本部に連絡すること。
- (10) 出場選手が所属する団体から欠場選手が出た場合、未登録の選手が代わりに出場することはできない。
- (11) プログラムのミスプリント、欠落がある場合、事前に分かった場合は(公社)東京都障害者スポーツ協会に連絡すること。また、当日判明した場合は、受付で申告すること。
- (12) 表彰は、試合終了後、各組ごとに行うため、組ごとに時間が異なるので注意すること。

※プログラムやナンバーカードは、選手の所属する団体又は選手個人に事前に送付する。

※障害別参加区分

区分番号	障 害 区 分
1	知的障害